

陳 情 文 書 表 (令和8年9月30日定例会提出)

陳情第45号

柿本元気議員のSNS上の言動に関する陳情

令和8年9月17日受理

陳情者 ●●●●●●●●●●●●●●●●

中 西 哲 也

陳情の趣旨

奈良市議会議員柿本元気氏のSNS上における、同僚議員へずまりゅう氏に対する執拗な言及について、議会として注意を促すことを求める。

陳情の理由

柿本元気議員は、SNS上でへずまりゅう議員に対し、異常なまでに執拗な言及を繰り返しています。

へずまりゅう議員は柿本議員より一回り下の世代です。同じ奈良市議会の同僚であり、しかも若い議員に対して公の場で執拗に絡み続ける姿は、市民から見て情けなく、議会の品位を損なうものです。政策論争や議場での質疑であればまだしも、SNS上で相手を追い続けるような振る舞いが続いていることは看過できません。

加えて、柿本議員のこうした言動は、馬淵澄夫氏の顔に泥を塗り続けています。馬淵氏は柿本議員が選挙に出た際、応援に入り、選挙運動を手伝った間柄です。その恩ある先輩政治家の名声まで巻き込み、SNS上の執拗な応酬で信頼を損なうことは、柿本議員個人の問題にとどまらず、奈良の政治全体の信用にも関わります。

よって、下記のとおり陳情します。

陳情事項

1. 奈良市議会は、柿本元気議員のSNS上におけるへずまりゅう議員への執拗な言及について、議員としての品位及びソーシャルメディア利用の在り方に照らして、適切な注意または指導を行うこと。
2. 議会として、議員間の批判は議場及び政策論で行い、一回り下の同僚をSNS上で執拗に対象化し続けることが、市民の信頼と、選挙で応援を受けた先輩政治家・馬淵澄夫氏の名声を損ねている現状を認識すること。